

実践 取引先の決算書から粉飾をどのように見抜くのか

粉飾された決算書には、何かしら兆候が隠れている。どこに着目すればよいのか、実際に分析に取り組むための心得や分析手法を解説する。



定量・定性の両面から確認する重要性を理解しよう

多くの金融機関で店舗や人員削減が進んでおり、担当者一人あたりの負担も増していることだろう。まして、担当先の中に業績不振先があれば取引上の旨味が少なく、「できればあまり関わりたくない」のが現場の本音だろう。

しかし、そうした業績不振先こそ、資金繰りが厳しくなり、資金調達のために粉飾決算に走ってしまうおそれがある。気付かずして融資を続け、ある日突然倒産すれば、金融機関にとって大きな損失だ。

このことをしっかりと認識して業績不振先を中心に決算書をよくチェックすることが欠かせない。その際には、定量・定性の両面からチェックすることが必要になる。

決算書を見て

違和感を持つことが大切

・定量分析

粉飾決算の見極めは、決算書を基にした定量分析が中心となる。決算月から3カ月が経過していれば、試算表も受け取り、四半期ごとに更新された情報を

チェックするのが望ましい。ただし、粉飾決算を懸念するような取引先であれば、試算表も本当に企業実態を表しているかが疑わしい。

まずは決算書の分析結果に対して、「違和感を持つことができるか」が問われる。例えば売上が落ちていながら、「どうしてなのか」と経営者に投げかける心がけが大切だ。日頃から取引先の直近数期の売上・利益に目を通しておき、それぞれの推移の傾向をつかんでおこう。

・定性分析

財務諸表を基に粉飾決算の手がかりをつかんだら、それを補足・裏付けるのが定性面の情報

である。取引先の経営者は、粉飾に関わるような悪い情報を担当者に話したがるものだ。そこで、取引先の状況を把握する1つの手段として、従業員に業況に関連する話を聞いてみるとよい。例えば「最近、A商品は調子がいいですね」と何気なく聞いてみよう。決算書の情報と従業員の話との間に矛盾があれば、粉飾が行われているかもしれない。

相応の労力は必要になるが、このような情報収集を通じて粉飾決算の疑いについての確度を高めることができる。

(上田真一・銀行取引コンサルタント)

ケーススタディ

疑わしい決算書の分析とヒアリングの進め方

①② 上田真一 銀行取引コンサルタント ③④ 櫻沢健

CASE 1 棚卸資産の水増しによる利益の拡大

↓ 在庫の推移と回転期間を長期で見ても業界平均と比較し異常を突き止める

企業の粉飾決算は、様々な手段を組み合わせて巧妙に隠されている。中でも特によく使われる手口は、「棚卸資産による在庫の水増し」と「売上債権による架空売上の計上」の2つである。

ただし、架空売上を計上すれば、増えた売上に伴って消費税の負担も増えてしまうので、業績不振の企業は避けたいと考える傾向が強い。このような理由から、決算書の棚卸資産を利用した在庫の水増しが最も多く粉飾に使われる。この方法の仕組みや見抜き方について、以下に

述べていこう。

財務の上では

在庫増加で利益が拡大

① 棚卸資産による在庫の水増しの仕組み

この手法については、まず貸借対照表の棚卸資産が、損益計算書の売上原価に影響するということを押さえておこう。「売上原価」＝期首商品棚卸高＋当期商品仕入高－期末商品棚卸高で算出される。このうち期末商品棚卸高(期末在庫)を増やすと売上原価が減少することになるので、財務

上は売上総利益の段階で利益を増やすことができる。

仮に、決算期のはじめにリンゴが100円分あり、期中に200円分仕入れたとしよう。⑦期末にリンゴが100円分残ったケースでは、売上原価＝100＋200－100＝200円となる。一方、④期末に残ったリンゴを100円水増しして200円にしたケースでは、100＋200－200＝100円となり、売上原価が100円下がる。

このように期末在庫を増やすだけで売上を変えずに利益を上



げられ、金額によっては赤字を解消し、黒字に見せることができるというわけだ。

② 在庫水増しによる粉飾を見抜く方法

在庫の粉飾を見抜く方法として比較的簡単に取り組めるのが、長期間の数値や、在庫の回転期間の数値を比較する方法だ。数値例を挙げながら、在庫を水増している場合の見抜き方を述べていこう。

図表1は、A社の6期にわたる売上高と棚卸資産の推移を示している。これによると、A社